



# 茨 歯 会 報

No.556

茨城県歯科医師会  
Ibaraki Dental Association

July&August

2015  
平成27年

7・8



## Contents

デンタルアイ	1
森 永 和 男	
新役員紹介	3
会務	7
理事会報告	11
会務日誌	13
学術委員会だより	19
厚生委員会だより	32
医療管理委員会だより	34
センターだより	36
地区歯科医師会だより	42
清 水 寿 郎	
高 根 正 敏	
内 堀 史 朗	
山 口 昭	
古 橋 菜穂子	
寄稿	55
小 倉 和 夫	
田 中 晃 伸	
荒 川 弘 朗	
ピンクのエプロン	66
高 瀬 ゆかり	
リレー通信	67
大 里 一	
追悼	69
会員の異動	71
国保組合 NEWS	72
茨歯アンテナ	73
歯科コラム	74
事務連絡	75
赤えんぴつ	76

### 表紙写真について

#### 牛久大仏 万燈会

毎年8月15日にお盆の追悼を目的とした「万燈会」。

(社)茨城県つくば歯科医師会 小林 健一

# DENTAL eye

## 会長 3 期目を迎えて



会長  
森 永 和 男

会長予備選挙において先生方のあたたかいご支援を頂き、無事3期目を迎える事ができました。会員の先生方には厚く感謝申し上げます。

公益社団法人茨城県歯科医師会となり、7月が事実上のスタートになります。7月16日には新たな体制の元、初めての茨城県歯科医師会代議員会を開催させて頂きました。

思えば、平成23年4月に会長に就任しましたが、その年は3月11日に忘れもしない、あの未曾有の東日本大震災があり、約1年間その対策に追われながら茨城県歯科医師会の今後の在り方を考え、行動した事が思い出されます。この間本当に理事の先生方にはいろいろな面で助けられ、一致団結の元、執務ができました。この時理事会の中での思いやり、絆が大きくなったと感じております。第3期目は森永体制の確立の年と考えております。

今の我が国を見ますと、他国にない超高齢社会を迎え、社会保障制度の在り方を模索している現状であります。2025年には団塊の世代が75歳を迎えます。このような時、旧態依然の生きる医療先行の医療体制を続ける事は不可能であり、医療の転換を図らなければなりません。すなわち生活を支える医療を取り入れるべきだと考えます。

WHOでも健康の維持を保つためには、生活習

慣が5割を占める事を謳っております。まさに自分の健康は自分で守る、この事の大切さを医療人として県民に訴えて行かなければならないと感じております。この生活を守る医療こそが歯科医療なのです。なぜなら医療費の約1/3を占める生活習慣病、死亡の第3位を占める肺炎、現在クローズアップされている認知症等に歯周病をはじめ口腔の健康が大いに関係している事が明確に分かってきたからです。この結果として年々増加している寝たきり高齢者を防止し、健康寿命の延伸を図る事ができると確信しております。

年を重ねる事が悪いのではなく、QOLを高め、楽しい老後の生活を送れる状態にする事が大切なことと思われまます。

そうは言っても平均寿命と健康寿命との差が増大している現在、医療費の増加はなかなか止める事ができないのが現状です（医療費は50兆円に迫って来ており今や国家予算の半分に匹敵してきております）。

ここで国は在宅医療への転換を図ろうとしております。昨年から8%の消費税導入に伴う医療拡充のための基金を創設し、地域包括ケアの考え方を打ち出し、地方分散型の医療体制づくりを考えて来ております。すなわち在宅医療への転換であります。ここで考えなければならな

いのが地域包括ケアシステムは国からの押しつけで進められないよう注意しなければなりません。すなわち地域包括ケアシステムが一人歩きしないよう見守らなければなりません。幸いにしてこの4月から茨城県庁内に歯科口腔支援センターが開設されました。茨城県歯科医師会もこのシステムを有効に活用し、多職種との連携を構築していこうと考えております。

幸い会長就任以来、各地区の歯科医師会の先生方のご協力を頂き、口腔医療の大切さを訴え続ける事が出来ております。現在の時点で44市長村の内37市町村との話し合いを持たせて頂いております。この企画が達成できましたならば、各市町村にこの歯科口腔支援センターができるよう努力し、地域包括ケア支援センターの柱に据えられるよう茨城県に働きかけようと思っております。また、そのためには県民の歯科に対する理解を深めて行かなければなりません。

今期はマスコミの方にもご協力を頂き、積極的に広報活動を行っていきたいと思っております。その一環として、茨城県民歯科フォーラム

を立ち上げたいと考えております。

最後に、この4年間、強固な茨城県歯科医師会を目指して、改革を進めて参りました。事業面ではある程度の改革が進み、県民の歯科に対する目に変化していると感じております。これからはこれまでの経験を生かし、しっかりと組織づくりをして参りたいと考えております。この中で、茨城県歯科医師会内部のコンプライアンスを高めるため、この機会に組織の流れを改善して参りたいと考えております。基礎をしっかりとしない限り、どんなに素晴らしい企画を立ち上げても、砂の城であって、努力が報われません。運営面でもしっかりとした基礎を作り上げて参りたいと考えております。

これらによって、必ずや歯科に対する受診率の向上につながると同時に県民の健康を通しての幸せに寄与できると確信しております。

会員の幸せを願うと同時に、茨城県歯科医師会の発展のために今期も頑張りたいと考えておりますので、ご協力、ご支援を切にお願い致します。

## アイ・デー・エスは…

医師賠償責任保険

火災保険

所得保償保険

小規模企業共済制度

自動車保険

生命保険

…など各種保険の代理店、集金業務を行います。新規加入、増額変更、何なりと御用命下さい。

(アイ・デー・エスは、イバラキ・デンタル・サービスのイニシャルです。)

有限会社 **アイ・デー・エス**

代表取締役 **森 永和 男**

水戸市見和2丁目292番地 茨歯会館内 TEL:029(254)2826

## 新 役 員 紹 介

会 長 男  
森 永 和



副会長  
小 鹿 典 雄



副会長  
黒 澤 俊 夫



専務理事  
征 矢 亘



常務理事  
小 林 不 律  
(会計)



常務理事  
村 居 幸 夫  
(総務、センター)



常務理事  
渡 辺 進  
(地域保健)



常務理事  
大 字 崇 弘  
(医療管理)



常務理事  
榊 正 幸  
(社会保険)



理 事  
千 葉 順 一  
(学校歯科)



理 事  
岡 崎 恵 一 郎  
(学術)



理 事  
飯 島 清 人  
(IT)



理 事  
菱 沼 一 弥  
(広報)



理 事  
綱 川 健 一  
(専門学校)



理 事  
小 野 寺 鏡 子  
(介護保険)



理 事  
増 本 章 典  
(厚生)



監 事  
鈴 木 伸 之



監 事  
色 川 卓 男



監 事  
野 堀 幸 夫



## 代 議 員 会

議 長  
小 澤 一 友



副議長  
松 隈 博 通



## 地 区 長 紹 介

日立地区  
間 宮 高 弘



珂北地区  
小 林 克 男



水戸地区  
猿 田 範 雄



東西茨城地区  
仁 平 哲 夫



鹿行地区  
荒 野 実



土浦石岡地区  
荻 野 義 重



つくば地区  
松 隈 博 通



県南地区  
飯 塚 秀 人



県西地区  
青 木 秀 史



西南地区  
橋 本 正 一



## 各部委員会

## (1) 学術委員会

部長	岡崎 恵一郎	(水戸)
委員長	今湊 良証	(東西茨城)
副委員長	會澤 臣	(土浦石岡)
〃	安藤 和成	(鹿行)
委員	須田 聡	(日立)
〃	斉藤 洋一	(珂北)
〃	上野 卓也	(水戸)
〃	毛利 環	(つくば)
〃	越野 敏郎	(県南)
〃	白澤 光二	(県西)
〃	中井 巳智代	(西南)

## (2) 厚生委員会

部長	増本 章典	(日立)
委員長	米川 久	(水戸)
副委員長	和田 勉	(日立)
委員	平田 輝行	(珂北)
〃	松井 慎太郎	(東西茨城)
〃	高野 秀勝	(鹿行)
〃	海老原 康晴	(土浦石岡)
〃	吉田 勝幸	(つくば)
〃	山田 雄	(県南)
〃	中山 映志	(県西)
〃	飯田 敏行	(西南)

## (3) 医療管理委員会

部長	大字 崇弘	(県南)
委員長	初見 謙介	(西南)
副委員長	松葉 俊明	(県南)
〃	西野 有一	(日立)
委員	坏 宏唯	(珂北)
〃	鈴木 慶洋	(水戸)
〃	奥田 雅人	(東西茨城)
〃	篠塚 浩	(鹿行)
〃	鶴屋 誠人	(土浦石岡)

〃 印南 亮一 (つくば)

〃 河野 雅人 (県西)

## (4) 広報委員会

部長	菱沼 一弥	(つくば)
委員長	小林 健一	(つくば)
副委員長	小野 道範	(西南)
委員	白土 和彦	(日立)
〃	成井 敏幸	(珂北)
〃	飯島 重樹	(水戸)
〃	石本 崇子	(東西茨城)
〃	楠美 淳	(鹿行)
〃	大木 勝生	(土浦石岡)
〃	富田 浩之	(県南)
〃	古橋 仁	(県西)

## (5) 総務委員会

部長	村居 幸夫	(水戸)
委員長	飯野 守康	(水戸)
副委員長	麻生 明彦	(県南)
委員	立原 正仁	(日立)
〃	小泉 雄二郎	(珂北)
〃	玉川 台俊	(東西茨城)
〃	鈴木 信治	(鹿行)
〃	幕内 宏則	(土浦石岡)
〃	横張 雅彦	(つくば)
〃	津田 哲	(県西)
〃	三浦 雅美	(西南)

## (6) 地域保健委員会

部長	渡辺 進	(県西)
委員長	北見 英理	(日立)
副委員長	寺門 史郎	(珂北)
委員	深谷 聖	(水戸)
〃	長谷川 弘道	(東西茨城)
〃	石崎 雄司	(鹿行)
〃	土屋 雄一	(土浦石岡)

〃 久松雅彦 (つくば)  
 〃 橋村弟子 (県南)  
 〃 柴崎崇 (県西)  
 〃 鈴木哲之 (西南)

## (7) 介護保険委員会

部長 小野寺鏡子 (西南)  
 委員長 土子吉久 (東西茨城)  
 副委員長 田所重映 (日立)  
 委員 高橋健 (珂北)  
 〃 神田稔 (水戸)  
 〃 丸山憲一 (鹿行)  
 〃 野木隆久 (土浦石岡)  
 〃 加園真樹 (つくば)  
 〃 堤浩一郎 (県南)  
 〃 三木次郎 (県西)  
 〃 斉藤英雄 (西南)

## (8) 学校歯科委員会

部長 千葉順一 (土浦石岡)  
 委員長 椎名和郎 (水戸)  
 副委員長 加藤昌裕 (西南)  
 委員 渡辺義宏 (日立)  
 〃 柴岡永子 (珂北)  
 〃 木村守隆 (東西茨城)  
 〃 田崎良生 (鹿行)  
 〃 高木幸江 (土浦石岡)  
 〃 海老原一芳 (つくば)  
 〃 藤縄弘之 (県南)  
 〃 鬼澤英二 (県西)

## (9) 社会保険委員会

部長 榊正幸 (水戸)  
 委員長 大野勝己 (つくば)  
 副委員長 酒井一範 (土浦石岡)  
 委員 大平章裕 (日立)  
 〃 山口昌宏 (珂北)  
 〃 松尾裕之 (水戸)  
 〃 長谷哲郎 (東西茨城)  
 〃 岩間英明 (鹿行)  
 〃 小原俊彦 (県南)  
 〃 石浜寛隆 (県西)  
 〃 森田広 (西南)  
 予備委員 黒澤教昭 (日立)  
 〃 浅香康仁 (珂北)  
 〃 松崎浩成 (水戸)  
 〃 河村晴敏 (東西茨城)  
 〃 新堀敏也 (鹿行)  
 〃 加藤富志雄 (土浦石岡)  
 〃 小林之直 (つくば)  
 〃 山田知範 (県南)  
 〃 鶴見毅 (県西)  
 〃 長野泰弘 (西南)

## (10) 情報管理委員会

委員長 飯島清人 (県南)  
 委員 大字崇弘 (県南)  
 〃 岡崎恵一郎 (水戸)

# 災害時の歯科医療救護についての協定

茨城県歯科医師会 防災危機管理運営委員会

平成25年3月11日に茨城県と茨城県歯科医師会は「災害時の歯科医療救護についての協定」を締結しました。これは、2007年に締結した同協定を、東日本大震災の経験を踏まえ、より実効性があるものに見直したものであります。

しかし、災害が発生したとき、第一義的に対応するのは各市町村となりますので、協定を実効性のあるものにするためには、各地区あるいは各行政単位の歯科医師会と各行政との間で、県との協定に基づいた内容の協定を結んで頂く必要があります。県内全域で同じ協定が結ばれ、同じ体制ができることによって、災害時にスムーズに対応でき、行政の中での歯科の位置づけが明確にできる

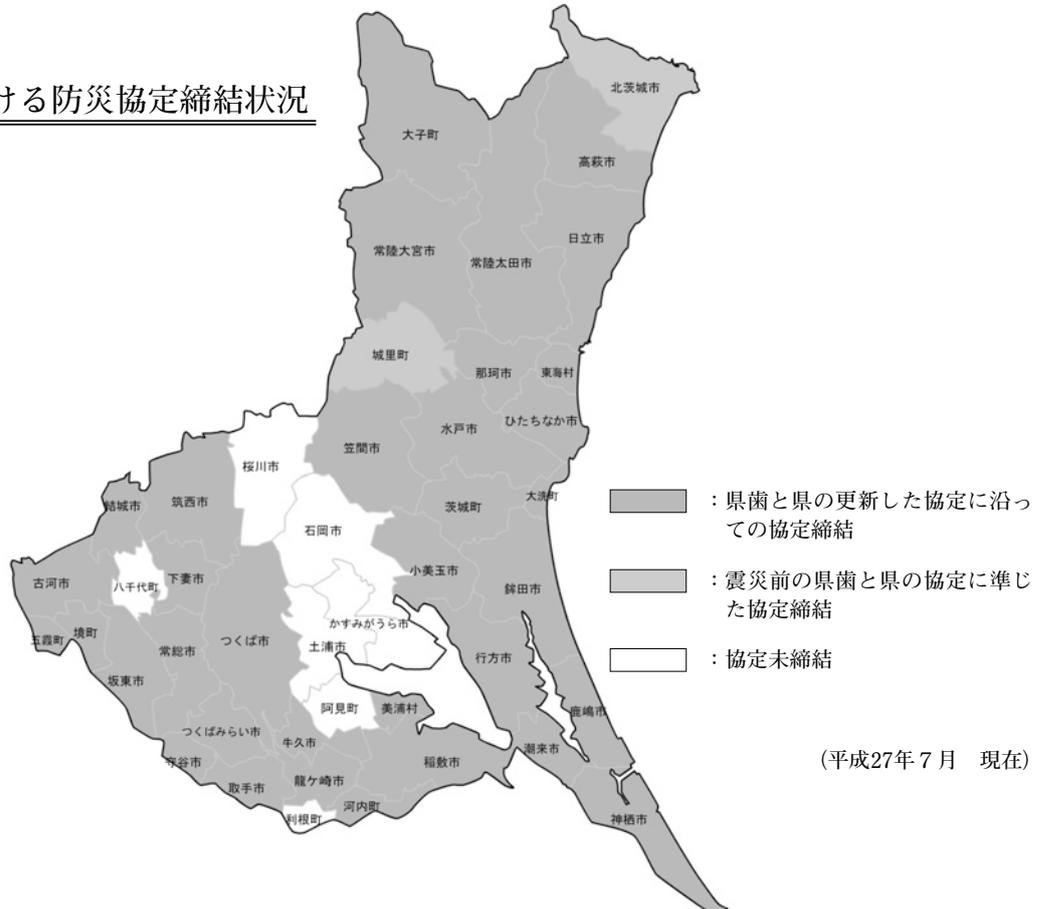
と考えます。

この考え方に基づき、市町村行政と各市町村歯科医師会との間で、同様の協定が締結されるように、各地区歯科医師会をお願いしてまいりました。

去る7月23日に茨城県との協定が締結され、県内44のうち37市町村との間で締結が完了しました。これもひとえに地区歯科医師会長および市町村歯科医師会長の先生方のご協力の賜物と深く感謝しております。

防災危機管理事業の一環として、県内すべての市町村において協定が締結されるようにこれからも尽力してまいりますので、今後ともよろしくご理解とご協力の程お願い申し上げます。

## 県内市町村における防災協定締結状況



# 理事会報告

## 第4回理事会

日 時 平成27年6月17日（水）午後5時30分  
場 所 茨城県歯科医師会館 役員室

### 1. 協議事項

(1) 代表理事である会長及び業務執行理事の選定について

会 長 森永 和男  
副会長 小鹿 典雄（学術、社会保険、  
専門学校）  
黒澤 俊夫（厚生、医療管理、  
地域保険、学校歯科、介護保険）

専務理事 征矢 亘

常務理事 小林 不律（会計）  
村居 幸夫（総務）  
渡辺 進（地域保険）  
大字 宗弘（医療管理）  
榊 正幸（社会保険）

理 事 千葉 順一（学校歯科）  
岡崎恵一郎（学術）

飯島 清人（情報管理）

菱沼 一弥（広報）

綱川 健一（専門学校）

小野寺鏡子（介護保健）

増本 章典（厚生）

監 事 鈴木 伸之

色川 卓男

野堀 幸夫

承認、確定。

### 2. 報告事項

(1) 血液センター旧土浦出張所の活用について  
建屋の利用は解体費や修繕費に高額な費用がかかるため、見送る。

## 第5回理事会

日 時 平成27年7月16日（木）午後4時  
場 所 茨城県歯科医師会館 会議室

### 1. 報 告

(1) 一般会務報告

(3) 後援名義の使用許可について

①茨城における小児の発達を支える地域リ  
ハビリテーションを考える会

②第28回いばらき医療福祉研究集会・第9  
回いばらき歯科医療フォーラム

(4) 疾病共済金の支払について

(5) 平成27年度茨城県心身障害者（児）

歯科診療所運営費補助金交付決定通知書に  
ついて

(6) 一般社団法人日本学校歯科医会役員の決定  
について

(7) 7月開業予定の歯科医院について

(8) 各委員会報告について

学術委員会、医療管理委員会、社会保険委  
員会、地域保健委員会、防災危機管理運営委  
員会、専門学校

### 2. 協議事項

(1) 各委員会委員の委嘱について

①常任委員会委員の委嘱について

②その他委員会委員の委嘱について、標記  
委員の委嘱について、承認した。

(2) 第159会臨時代議員会について

第1号議案 代議員会議長及び副議長の選  
出に関する件

第2号議案 議事運営特別委員会委員の選  
出に関する件

第3号議案 裁定委員会委員の選任に関す

- る件
- 第4号議案 選挙管理委員会委員の選任に関する件
- 第5号議案 平成28年度会費・負担金等賦課徴収方法案に関する件
- 標記代議員会議案について、承認した。
- (3) 茨城スポーツ・健康づくり歯学協議会プロジェクトチームについて  
標記プロジェクトチームについて、承認した。
- (4) 児童虐待早期発見歯科プロジェクトチームについて  
標記プロジェクトチームについて、承認した。
- (5) 平成27年度学校歯科保健研修会 講師謝礼について  
標記講師謝礼について、承認した。
- (6) 入会申込書の受理について  
伊勢 尋氏氏（水戸）、佐藤 昌氏（土浦石岡）、古澤 俊哉氏（西南）の入会を受理した。
- (7) 共催依頼について  
安心して徘徊できる街を目指して～多職種協働市民フォーラム2015～  
標記について、共催することとした。
- (8) 後期高齢者医療の被保険者に係る歯科健診の実施方法（案）について  
介護保険委員会が担当して、内容を検討することとした。
- (9) 病院歯科医会との歯科医療救護に関する協定について  
標記協定について、承認した。
- (10) まつりつくば2015への補助について（つくば）  
標記事業補助について、承認した。
- (11) 第16回公開講座への補助について（土浦石岡）  
標記事業補助について、承認した。
- (12) 学校・センター運営委員名簿（案）について  
標記について、承認した。
- (13) 裁定委員会、選挙管理委員会委員の委嘱について  
標記について、承認した。
- (14) 会費未納者への対応について  
標記について、継続審議とすることとした。
- (15) PCB廃棄物処理委託契約について  
標記契約について、承認した。
- (16) 学術シンポジウムの講師料について  
標記講師謝礼について、承認した。
- (17) 平成27年度関東地区歯科医師会役員連絡協議会について  
8月27日（木）ホテル東日本宇都宮にて開催される標記協議会について出席予定者を決めた。
- 出席者
- 第1分科会 森永会長、征矢専務、小林常務、榊常務
- 第2分科会 小鹿副会長、村居常務、増本理事
- 第3分科会 黒澤副会長、渡辺常務、小野寺理事

# 会務日誌

- 6月18日 第179回日歯定時代議員会が日歯会館にて開催される（～19日）。平成26年度貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにこれらの付属明細書、財産目録及びキャッシュ・フロー計算書承認、日本歯科医師会役員選挙規則一部改正、理事選任、監事選任、役員報酬算定審議会委員承認、裁定審議会委員の欠員に伴う委員指名、役員退職慰労金支給の件について議事が執り行われた。
- 出席者 森永日歯代議員ほか2名
- 6月18日 茨城県学校保健会評議員会が県メディカルセンターにて開催され、平成26年度事業報告並びに決算報告ほかについて協議が行われた。
- 出席者 柴岡学校保健会評議員
- 6月18日 第3回広報委員会を開催。会報6月号校正、会報7・8合併号の編集、広報座談会の企画、歯科コラムについて協議を行った。
- 出席者 菱沼広報部長ほか5名
- 6月22日 県防災情報ネットワークシステム整備にかかる工事説明会が県庁舎にて行われ、整備工事の進め方ほかについて説明が行われた。
- 出席者 河本
- 6月23日 県総合防災訓練 第2回会議が桜川市「大和ふれあいセンター」にて行われた。
- 出席者 河本
- 6月25日 第3回歯科助手講習会を開催。「建物・什器・ガス・水道・電気などの保全管理、清掃の基礎」「歯内療法」について講義を行った。
- 受講者 61名
- 6月25日 在宅医療介護連携拠点事業実施者の中間報告会が県庁舎にて開催され、平成26年度在宅医療・介護連携拠点事業の取組成果報告が行われた。
- 出席者 須能
- 6月25日 茨城空港利用促進等協議会総会が水戸プラザホテルにて開催され、平成26年度事業報告及び決算報告ほかについて協議が行われた。
- 出席者 森永会長
- 6月29日 北関東在宅医療推進フォーラム打合せ会が県医師会にて開催され、北関東在宅医療推進フォーラムの開催について
- 出席者 森永会長ほか1名
- 6月30日 日学歯第87回総会が日歯会館にて開催され、平成26年度事業報告・収支決算、役員選任の件、選挙管理委員会委員の選任の件について審議が行われた。
- 出席者 森永日学歯代表会員ほか1名
- 7月 1日 第3回社会保険正副委員長会議を開催。第3回社会保険委員会、指導、保険請求のQ&A

の別刷り、審査について協議を行った。

出席者 榊社会保険部長ほか2名

7月 1日 第3回社会保険委員会を開催し、「保険請求のQ&A」の改定について協議を行った。

出席者 榊社会保険部長ほか17名

7月 7日 水戸口腔センターの摂食嚥下研修会として今年度は全6回を企画。その第1回研修会として、「食べるための構造とメカニズム」について研修を行った。

受講者 108名

7月 8日 内外情勢調査会7月例会が水戸京成ホテルにて開催された。

出席者 森永会長

7月 9日 茨城県要保護児童対策地域協議会代表者会議が福祉相談センターにて開催され、要保護児童対策の現状等ほかについて協議が行われた。

出席者 森永会長

7月 9日 親と子のよい歯のコンクール審査会を開催。「母と子」コンクールに27組、「父と子」コンクールに5組の応募があった。

審査の結果、「母と子」部門の最優秀に横堀幸子・聖佳さん母子（笠間市）を、優秀に長塚海里・みちるさん、磯崎悠季・瑛太さん、村岡裕美・咲音さん、鈴木祐子・蘭花さん、澤真理子・優花さん、古川真弓・芽衣さん、金久保さゆり・さやさんの7組を選出。「父と子」部門の最優秀に中山裕暁・そらさん父子（東海村）を、優秀は坂敦史・隼成さんが選ばれた。

出席者 根本県保健予防課課長ほか3名、森永会長ほか7名

7月 11日 関東甲信越肢体不自由児者父母の会連合会茨城大会が県民文化センターにて開催された。

出席者 森永会長

7月 12日 平成27年度日歯生涯研修セミナーを開催。「健康長寿社会を支える歯科医療～総合的視点に立った臨床歯科～」をメインテーマに、東京都開業の細野純先生、日本歯科大学教授菊谷武先生がそれぞれ講演された。

受講者 111名

7月 13日 第1回在宅歯科医療推進協議会を開催。平成27年度在宅歯科医療推進協議会設置・運営、在宅歯科医療実態調査事業について協議を行った。

出席者 森永会長ほか4名

7月 14日 国民体育大会茨城県準備委員会第4回総会が水戸プラザホテルにて開催され、平成26年度事業報告ほかについて協議を行った。

出席者 森永会長

7月 14日 医療関係相談担当者情報交換会が県庁舎にて開催され、医療事故調査制度ほかについて協議が行われた。

出席者 鈴木事務局長ほか1名

7月 15日 未就業歯科衛生士復職支援のための講習会を開催。シャープニング、スケーリング、エアフローの実習を行った。

受講者 11名

7月16日 第4回歯科助手講習会を開催。「共同動作」、「保存修復」、「歯冠修復」、「有床義歯」、「歯周治療」について講義を行った。

受講者 57名

7月16日 第159回臨時代議員会を開催し、代議員会議長に小澤一友氏、副議長に松隈博通氏を選出し、議事運営委員の選出、裁定委員の選出、選挙管理委員会委員の選任、平成28年度会費・負担金等賦課徴収方法案に関する件について議事を執り行った。

出席者 小澤代議員会議長ほか61名

7月16日 第2回議事運営特別委員会を開催。委員長に高橋健氏、副委員長に萩原洋子氏を選出した。

出席者 高橋議事運営委員長ほか14名

7月16日 第1回防災危機管理運営委員会を開催。委員会の活動目的及び今後の方針について協議を行った。

出席者 森永会長ほか40名

7月16日 第1回医療事故処理委員会を開催。医療事故処理状況について協議を行った。

出席者 森永会長ほか24名

7月16日 第1回合同委員会を開催。新役員、委員の紹介後、各委員会の結成を行った。

出席者 107名

7月16日 第2回学術委員会を開催。委員長に今湊良証氏、副委員長に會澤臣氏、安藤和成氏を選出し、平成27年度事業計画及び予算について協議を行った。

出席者 岡崎学術部長ほか10名

7月16日 第3回厚生委員会を開催。委員長に米川久氏、副委員長に和田勉氏を選出し、平成27年度事業計画及び予算について協議を行った。

出席者 増本厚生部長ほか10名

7月16日 第1回医療管理委員会を開催。委員長に初見謙介氏、副委員長に松葉俊明氏、西野有一氏を選出し、平成27年度事業計画及び予算について協議を行った。

出席者 大字医療管理部長ほか9名

7月16日 第1回総務委員会を開催。委員長に飯野守康氏、副委員長に麻生明彦氏を選出し、平成27年度事業計画及び予算について協議を行った。

出席者 村居総務部長ほか10名

7月16日 第4回広報委員会を開催。委員長に小林健一氏、副委員長に小野道範氏を選出し、平成27年度事業計画及び予算について協議を行った。

出席者 菱沼広報部長ほか9名

7月16日 第2回地域保健委員会を開催。委員長に北見英理氏、副委員長に寺門史郎氏を選出し、平成27年度事業計画及び予算について協議を行った。

出席者 渡辺地域保健部長ほか9名

7月16日 第1回介護保険委員会を開催。委員長に土子吉久氏、副委員長に田所重映氏を選出し、平

- 成27年度事業計画及び予算について協議を行った。
- 出席者 小野寺介護保険部長ほか10名
- 7月16日 第1回学校歯科委員会を開催。委員長に椎名和郎氏、副委員長に加藤昌裕氏を選出し、平成27年度事業計画及び予算について協議を行った。
- 出席者 千葉学校歯科部長ほか9名
- 7月16日 第4回社会保険委員会を開催。委員長に大野勝己氏、副委員長に酒井一範氏を選出し、平成27年度事業計画及び予算について協議を行った。
- 出席者 榊社会保険部長ほか19名
- 7月16日 第1回情報管理委員会を開催。平成27年度事業計画及び予算について協議を行った。
- 出席者 飯島情報管理部長ほか2名
- 7月16日 第5回理事会を開催。各委員会委員の委嘱について、第159回臨時代議員会、茨城スポーツ・健康づくり歯学協議会プロジェクトチーム、児童虐待早期発見歯科プロジェクトチーム、学校歯科保健研修会 講師謝礼、入会申込書の受理、共催依頼、後期高齢者医療の被保険者に係る歯科健診の実施方法（案）、病院歯科医会との歯科医療救護に関する協定、まつりつくば2015への補助、第16回公開講座への補助、学校・センター運営委員名簿（案）、裁定委員会・選挙管理委員会委員の委嘱、会費未納者への対応、PCB廃棄物処理委託契約、学術シンポジウムの講師料、関東地区歯科医師会役員連絡協議会について協議を行った。
- 出席者 森永会長ほか18名
- 7月22日 第1回茨城県認知症施策推進会議が県庁舎にて開催され、茨城県の認知症対策の現状と課題ほかについて協議が行われた。
- 出席者 森永会長
- 7月23日 関東地区歯科医師会会長・専務理事・事務局長会議が日歯会館にて開催され、平成27年度関東地区歯科医師会関係諸会議の開催計画ほかについて協議が行われた。
- 出席者 森永会長ほか2名
- 7月27日 労働保険加入推進員研修会がホテルテラスザガーデン水戸にて開催され、労働保険未手続事業一掃対策ほかについて研修が行われた。
- 出席者 須能
- 7月28日 四師会正副会長等会議が県医師会会議室にて開催され、ワーキンググループの設置ほかについて協議が行われた。
- 出席者 森永会長ほか4名
- 7月29日 歯科専門学校にて第1回体験入学を実施。学校施設説明などを行い、歯科衛生士科に40名、歯科技工士科には7名の参加があった。
- 7月29日 第4回社会保険正副委員長会議が榊歯科医院にて開催され、指導対策（カルテベンチャー事業）、両審査会・社会保険委員会三者合同協議会開催日程、再指導について協議を行った。
- 出席者 榊社会保険部長ほか2名
- 7月29日 保険医療機関を対象とした個別指導が茨城県市町村会館にて実施された。

対象医療機関数 6

- 7月30日 第5回歯科助手講習会を開催。消毒、滅菌の必要性をテーマに「室、手指、器材、材料の消毒」「歯科診療補助の実際」について講義を行った。  
受講者 55名
- 7月30日 新規に指定を受けた医療機関への個別指導が厚生局茨城事務所にて実施された。  
対象医療機関数 8
- 7月30日 本会と茨歯連盟の間で協議会を開催。日本歯科医師会・日本歯科医師連盟の現況、第24回参議院議員通常選挙について協議を行った。  
出席者 森永会長ほか2名、高野連盟会長ほか4名
- 7月30日 総合防災訓練に向けての第3回会議が桜川市にて行われ、訓練実施要領（案）及びしおり（案）ほかについて協議が行われた。  
出席者 村居常務ほか3名
- 8月 4日 （仮称）茨城県がん対策推進条例（案）の制定意見交換会が県議会議事堂にて開催され、茨城県がん対策推進条例の制定に関する意見交換を行った。  
出席者 森永会長
- 8月 4日 日本歯科医学会第93回臨時評議員会が日歯会館にて開催され、評議員会議長及び副議長の選出、学会顧問の委嘱について議事が執り行われた後、会務運営のあり方について協議が行われた。  
出席者 森永会長
- 8月 5日 国体準備委員会第1回募金・企業協賛推進委員会がホテルテラスザガーデン水戸にて開催され、募金・企業協賛の他県の状況ほかについて協議を行った。  
出席者 森永会長
- 8月 6日 学校歯科保健研修会を県民文化センターにて開催。日本歯科大学生命歯学部歯周病学講座の沼部幸博先生が「歯周病予防で健康寿命アップ！ー全身の健康はお口の中からー」と題して講演された。  
受講者 156名
- 8月 6日 歯科技工士会との懇談会を開催。定期的な協議の実施、義歯刻名事業の事業補助、県歯・地区歯のイベント等への技工士会の参加について協議を行った。  
出席者 森永会長ほか2名
- 8月 6日 後期高齢者医療広域連合との歯科健康診査事業の打合せが茨歯会館にて行われ、歯科健康診査事業について協議を行った。  
出席者 小林常務ほか3名
- 8月 6日 第4回厚生委員会を石岡市内にて開催し、第37回歯科医師親善地区対抗ゴルフ大会組合せ作成、歯と口の健康フェスティバルについて協議を行った。  
出席者 増本厚生部長ほか9名
- 8月 6日 セルフメディケーション推進連絡会議が県薬剤師会館にて開催された。  
出席者 征矢専務

- 8月 6日 第1回防災危機管理運営小委員会を開催。歯科医療チームの編成、緊急時車両登録・給油登録、茨城県総合防災訓練への委員会からの派遣、警察歯科医全国大会への参加、四師会災害時連携協定WG会議、各市町村行政との災害時協定締結進捗状況と締結促進に向けて、防災機器・備蓄品の管理・更新、本年度警察歯科協議会の運営、県警捜査一課「多数死体取扱要領訓練」、27年度 茨歯会警察歯科医名簿、災害時相互支援協定（日大松戸・奥羽）の締結について協議を行った。
- 出席者 村居常務ほか13名
- 8月 6日 茨城県医療審議会医療法人部会が県庁舎にて開催され、医療法人の設立認可ほかについて審議が行われた。
- 出席者 森永会長
- 8月 9日 県作業療法士会の30周年記念式典が水戸京成ホテルにて開催された。
- 出席者 森永会長
- 8月12日 第1回茨城県総合がん対策推進計画-第三次計画-中間評価検討委員会が県庁舎にて開催された。
- 出席者 征矢専務
- 8月17日 第2回四師会災害等連携協定ワーキンググループ会議が県医師会にて開催され、第2回JMAT茨城研修会ほかについて協議が行われた。
- 出席者 小鹿副会長ほか3名
- 8月19日 歯科専門学校にて第2回体験入学を実施。学校施設説明などを行い、歯科衛生士科に29名、歯科技工士科には3名の参加があった。

## 会員へのお知らせ

### 日本歯科医師会福祉共済制度について

#### 1. 死亡共済金受取人順位の変更について

受給権者をあらかじめ指定した方で、結婚、離婚、再婚、死別などにより受給権者の状況に変更があった場合（指定の確認は茨城県歯科医師会までお問い合わせ下さい）。

#### 2. 火災・災害共済指定物件の変更について

住宅及び診療所所在地の変更があった場合（変更届出前に火災、災害に遭われた場合、所定の共済金が支払われないことがありますので、変更時に必ずお届け下さい）。

※ これらの変更については、所定の様式がございますから、茨歯会事務局（TEL 029-252-2561：担当 根本）までご請求願います。



## 平成27年度日歯生涯研修セミナー(茨城会場) 健康長寿社会を支える歯科医療 ～総合的視点に立った臨床歯科～

学術委員会 會澤 臣

平成27年7月12日(日)、茨城県歯科医師会館にて日歯生涯研修セミナーが開催されました。平成27年度の生涯研修セミナーは「健康長寿社会を支える歯科医療～総合的視点に立った臨床歯科～」というタイトルで我が国の急速な高齢化の中、平均寿命とともに健康寿命をも延ばすためにいかに歯科が関わっていくか、そして、そのためのアプローチに焦点を絞っています。

患者様の高齢化に伴い全身的評価の必要性、自分の足で通院できなくなった患者様への医療提供、摂食嚥下障害の方の対応など我々歯科医療現場でもその必要性が肌で感じられ、これらに対して柔軟に積極的に当たらねばならない状況にきています。

この日は梅雨の晴れ間で日本列島各地において猛暑日となり水戸でもかなり気温が上がりましたが、参加人数は111名と関心の高さが伺われました。

講師として東京都でご開業されている細野 純先生そして日本歯科大学教授菊谷 武先生を招聘致しました。また日本歯科医師会からは小林 慶太常務理事にご参加いただきました。

細野先生には「はじめての在宅歯科医療～地域におけるかかりつけ歯科医の役割～」と題して、地域におけるかかりつけ歯科医の役割としての在宅歯科診療の現状、在宅歯科医療の提供、取組みについて、地域包括ケアシステムにおける地域連携について講演していただきました。

菊谷先生は演題「在宅歯科医療における摂食嚥下リハビリテーション」の中で「歯科医療が食べることを支えるということ」を強調され摂食嚥下障害患者の実態から始まり、摂食状況の改善のためにはどうしたらよいかを解説していただきました。

今回の日歯生涯研修セミナーでは「在宅療養支援歯科診療所の施設基準の届出に必要な研修会」





として受講証明証を発行しました。その他の要件も満たした上、ぜひ多くの会員に「在宅療養支援歯科診療所」にご登録いただきたく思います。

届出についての詳細は下記を参照ください。

「関東信越厚生局」ホームページ→申請等手続き→施設基準の届出等→特掲診療料の届出一覧→下段の表 整理番号2-43

余談ですがお昼には茨城県歯科医学会の企画の一つである「弁当プロジェクト」の受賞作のレシ

ピを参考に「噛む弁当」をお弁当屋さんに協力して作っていただき、来場された先生方に提供することができました。お弁当のパッケージの表装デザインも5カレッジリーグの学生さんから募集を行い、最優秀賞となったデザインのものを採用致しました。初めての試みでしたがアンケート等でご意見をいただけたらと思います。

以下に、今回のセミナーのまとめを掲載いたします。



**株式会社 岩瀬歯科商会**

昭和の幕開けと共に栃木県で創業した弊社は、今年で90年目を迎えます。  
皆様方への感謝を忘れず、未来を見据えた歯科ディーラー像を創造して参ります。





イワセオリジナルユニット  
**SIGNO NEXT**

こだわりと好みをひとつずつ反映しながら、ワンランク上のラグジュアリー空間と心地よさを演出します。

■ 製品名 横山精工株式会社 シグノ

■ 製造元 株式会社モリタ東京製作所

■ 特許情報 特許第4720号(特開2000-100000)

■ 特許権者 株式会社モリタ東京製作所

製造販売・製造

**株式会社モリタ東京製作所**

本社〒327-0854 栃木県足利市中央区上落合2-11-24 TEL.048-552-1315

伊原工場 栃木県北足利郡伊原町小室7129 TEL.048-723-2621

発売

**株式会社モリタ**

大阪本社 大阪府吹田市港水区3-33-18 TEL.06-6380-2525

東京本社 東京都台東区上野2-11-15 TEL.03-3834-6161

**事業所案内**

本社	台東区台東2-23-7	TEL.03-3832-8241
宇都宮支店	宇都宮市平出工業団地37-6	TEL.028-613-5858
水戸支店	水戸市白梅2-8-18	TEL.029-225-6543
松戸支店	松戸市幸谷観音下159-1	TEL.047-345-3131
千葉支店	千葉市中央区浜野町879-1	TEL.043-305-1182
上野支店	台東区台東2-23-7	TEL.03-3832-8241
古河支店	古河市下山町9-60	TEL.0280-30-1582
福島支店	福島市鎌田字卸町4-1	TEL.024-552-1161
世田谷支店	世田谷区玉川台2-11-17-101	TEL.03-5491-7595
練馬営業所	練馬区豊玉北4-14-11	TEL.03-5912-1180
横浜支店	横浜市栄区小菅ヶ谷1-28-9-101	TEL.045-895-3808
5月GW明け以降	横浜市磯子区中原2-1-19	NEW TEL.045-770-4182
前橋支店	前橋市紅雲町1-22-2	TEL.027-243-8241
5月GW明け以降	高崎市京目町176-2	NEW TEL.027-350-8241
厚木支店	厚木市酒井2087-14	TEL.046-228-5550
大宮支店	さいたま市見沼区東大宮7-41-1	TEL.048-688-1740
盛岡支店	盛岡市上堂1-6-5	TEL.019-648-2777
東大和支店	東大和市立野3-640-1	TEL.042-590-5770

## 第48回関東地区歯科医師親善ゴルフ大会 茨城県 団体4位 入賞逸する

IDC幹事 柴原 宏一郎

今年も、恒例の関東地区ゴルフ大会が、6月4日(木) 埼玉県の当番で、本県の大利根カントリークラブで185名の歯科医師が参加し開催されました。

毎年当番県の名門コースで開催されますが、今年は珍しいことに、何故か他県のコースが使われました。大利根カントリークラブは、名匠井上誠一氏の設計で有名で、自他共に認める茨城県内のナンバーワンコースです。同じ設計者の大洗ゴルフクラブに似て、松林でセパレートされていて、実に戦略性に富んだ風格あるコースです。ティグラウンドからも、2打目地点からも、グリーン回りからも、松の木と枝が微妙に張り出していて、プレーする選手を悩ませました。グリーンも見た目より起伏があり、難易度がかなり高いコースと感じました。

大会は、例年通り一般枠(年齢制限なし)15名以内エントリーと、シニア枠(60歳以上)5名以内エントリー、役員枠数名の参加者で行われました。各都県の対抗戦は、グロス戦で、一般枠上位7名、シニア枠から上位3名の合計10名のトータルで争いました。結果は別記の通りですが、茨城は残念ながら直前に有力選手のキャンセルが多く出てしまい、戦力ダウンとなってしまいました。エントリーの時点から、6名のキャンセルと、1名の補充で大会に臨みました。当日はやや風が強目でしたが、好天気にも恵まれました。数日後に梅雨入りしましたから、グッドタイミングの開催でした。

一般枠は、東コースの黒ティ(フルバック)から、シニア枠と役員枠は、西コースの青ティからのラウンドでした。各都県のゴルフ腕自慢の先生方でも苦労した様子はスコアにも表れ、バスマグロは埼玉県の2人が77ストローク、団体優勝合計は820ストロークに留まりました。例年は700台後半、個人でも72前後ですから、今回のコースは難しかったと言えます。個人戦は新ペリア方式(トリプルカット)で、20位までと5位ごとの飛び賞に賞品がプレゼントされました。



本県から参加の臼井健祐先生は、満82歳になられ、全参加者のなかで最高年齢者として、表彰式で紹介され、賛辞が送られました。大会直前に白内障の手術をされても、元気にプレーされ、個人戦では数多い参加者のなかでブービー賞に入り、相変わらずの運の強さをみせつけました。ご自身のコメントでは、第1回から参加しているとの事で、ご立派の一言です。

# 栃木県ゴルフ協会



栃木県から始まったこの大会も半世紀を迎え、来年は群馬県の当番で沼田市の初穂カントリークラブ白沢高原コースで6月9日の予定です。その次の年は節目の50回大会が栃木県で開催され、その次が茨城県の当番になります。

そろそろ、開催場所と日程の検討が必要かと思っています。

この大会は茨歯会厚生部の事業の一つになっておりますので、会員各位のご協力を切にお願い申し上げます。

## 成績表

団体戦成績 一般枠上位7名とシニア枠上位3名の合計

1位	埼玉県	820ストローク
2位	東京都	841ストローク
3位	栃木県	851ストローク
4位	茨城県	863ストローク
5位	千葉県	869ストローク
6位	群馬県	872ストローク
7位	神奈川県	873ストローク
8位	山梨県	892ストローク

団体戦に貢献した本県選手のスコア

草野 廣幸 (鹿行)	81
米川 久 (水戸)	82
千葉 順一 (土浦石岡)	84
大寄 哲也 (鹿行)	86
林 寿 (鹿行)	86
平尾 修 (県南)	89
色川 敦士 (土浦石岡)	89
小川 修二 (県南)	83
高野 俊行 (土浦石岡)	90
白川 徳植 (日立)	93

## 原稿募集

身近な出来事から臨床まで皆さまのご意見・感想を載せてみませんか。

「茨歯会報」は会員皆さまの会誌です。臨床におけるヒントや趣味、旅の思い出など、また地区歯科医師会や同好会・同窓会の様々な活動（研修会、厚生事業）など何でも結構です。会報をフルにご活用下さい。

Eメールの投稿で結構です。形式はどんな形式でもかまいませんが、出来ればテキスト、ワード、一太郎、にてお送り下さい。

詳しくは、茨歯会事務局まで。

E-mail [id-05-koho@ibasikai.or.jp](mailto:id-05-koho@ibasikai.or.jp)

広報委員会

# 医療+管理委員会 だより

## 平成27年度 第1回歯科衛生士復職支援講習会

医療管理委員会 鈴木 慶洋

平成27年7月15日（水）、茨城県歯科医師会館において本年度第1回歯科衛生士復職支援講習会が開催された。

本講習会は結婚や出産・育児あるいは様々な理由から歯科衛生士という仕事から離れ休職している方々、また歯科衛生士という資格を持ちながら別の仕事に就いている方々なども対象に行われるものである。

今回の募集方法はホームページによるものと歯科医院へのチラシによる広告、また衛生士会への郵送物によるもので、県内各地から11名の受講生が参加した。

この募集方法も毎回新しい方法を検討したり、工夫を凝らしたりと試行錯誤の連続である。

それが奏功してか、最近は一定数の受講生が参加しているが、当委員会としてはさらに募集人数を増やしていきたいと考えている。

森永県歯会長、大字医療管理委員会担当部長の挨拶の後、専門学校衛生士科菱沼主任、須藤先生、川井先生による講義と実習が午前10時10分頃より11時40分頃までのおよそ1時間半行われた。

今回のテーマはシャープニング実習、キュレットスクレーピング相互実習、歯面清掃器（®エアフロー）相互実習である。

最初は緊張の面持ちだった受講生も時間が経つにつれて動きに機敏さがでてきたり、プロとしての顔を覗かせる受講生もいた。

実習内容からすると1時間半という時間は窮屈

な感じもするが、アンケートの結果からは受講生はそれほど短く感じていないようである。

何よりもこの講習会を通して受講生が衛生士としての自信を取り戻し歯科医院に復職してもらう事が最重要だと考えている。

講義と実習の後、受講生にはお菓子とお茶が振る舞われ和やかな雰囲気の中、大字部長から復職についての講話があった。今回は茨城県歯科医師会のホームページの求人情報を見ながら解説するという方法で行われた。

「いかに求人数が多く復職が求められているか」「歯科医院側も求人にあたり雇用条件や労働時間に気を配っているか」等を説明し受講生に話しかけた。アンケートからも分かるように歯科衛生士が歯科医院側に求めているもので重要視している項目は勤務時間であり、条件が合えばいつでも復職を考えているという回答結果から鑑みると、衛生士の求職者に労働時間のある程度合わせていくという姿勢も必要に思われる。

1つの目標地点は、この受講生たちを歯科医院への面接までもっていく事である。

ただしそこに至るまではまだいくつもの障壁が存在するのも事実であり、例えば受講生一人一人の復職希望の有無や復職までの時期、さらに細やかな採用条件の聞き取りなども行う必要があるが、それらは容易な事ではない。

また希望条件を聞き出したとしても、それを歯科医院側の条件との擦り合わせなども必要であ

る。

さらにそこから面接へとまだまだ課題は山積であるが、ただ回を追うごとに改善されてきているのも事実であり、参加者の募集・講義の内容・就職相談と形は整いつつある。1人でも多くの休職中あるいは離職中の衛生士に歯科医院に復職してもらうべく、さらにそれが県内の隅々まで本講習会の成果が行き渡るように鋭意努力しているところである。

受講生に行ったアンケート結果を掲載するので求人の際の参考にしていただきたいと思う。

また次回の復職支援講習会の日程も併せて掲載しますので、お知り合いの衛生士で休職中あるいは離職中の方がいましたら是非お話しして頂きたいと思います。

最後に医療管理委員会を退任された山本健先生に、当委員会を長く支えて頂いたことを心より感謝いたします。

この場を借りてお礼を述べさせていただきます。

#### 歯科衛生士復職支援講習会アンケート結果

Q1 この講習会の事を何で知りましたか？

- A1 歯科医院の広告 5
- A2 ホームページ 0
- A3 友人・知人の紹介 0
- A4 真珠会お知らせ 1
- A5 衛生士会お知らせ 2
- A6 その他 4

Q2 講義の内容はどうでしたか？

- A1 丁度よい 11
- A2 物足りない 0

Q3 実習内容はどうでしたか？

A1 丁度よい 10

A2 物足りない 1

Q4 復職にあたって気になることは？（複数回答可）

A1 給与・待遇 6

A2 職勤務時間 8

A3 職場の人間関係 8

A4 その他 0

Q5 御友達に復職を考えている衛生士さんはいますか？

A1 いる 5

A2 いない 4

Q6 復職の時期は

A1 3か月以内 1

A2 1年以内 1

A3 1年以上 0

A4 条件が合えばいつでも 5

#### 平成27年度歯科衛生士復職支援セミナー日程

第2回 平成27年11月25日（水）

テーマ シャープニング・キュレットタージ・超音波スケーラー

第3回 平成28年3月31日（木）

テーマ キュレットタージ・PMT C

各回10：00から12：00まで

講習会後就職相談受付可能

会場 茨城県歯科医師会館 講習費無料

問い合わせ 本会事務局 根本まで



## 茨城県歯科医師会主催 第1回障害児・者歯科講演会報告

茨城県身体障害者小児歯科治療センター

関口 浩、鬼澤 璃沙、山下 千春  
村居 幸夫、征矢 亘、森永 和男

平成27年6月7日（日）に茨城県歯科医師会館講堂におきまして、茨城県歯科医師会主催／水戸口腔センター企画の第1回障害児・者歯科講演会が開催されました。今回は「発達障害の理解と発達を促す関わり方」と題して岩崎淳也先生（国際医療福祉大学保健医療学部言語聴覚学科・栃木県大田原市）（写真1）にご講演いただきました。



写真1 岩崎淳也先生

岩崎淳也先生のご略歴

平成8年 上智大学文学部哲学科卒業  
平成11年 東京都立大学人文科学研究科哲学専攻  
修了  
平成13年 国立障害者リハビリテーションセン  
ター卒業  
平成13年 つくばセントラル病院リハビリテー  
ション科入職

平成23年 医療専門学校水戸メディカルカレッジ  
入職  
平成27年 国際医療福祉大学保健医療学部言語聴  
覚学科入職  
現在に至る

### 講演内容の要旨

「発達障害」は決して特別なものではなく、我々誰もが有している「個性」の延長上に存在しているものです。今回の講演ではまず、発達障害の疑似体験を通じて、各種発達障害の理解を深めていただくことを目指します。その上で、言語聴覚士の行う発達障害の評価法と訓練方法について概説し、臨床事例を挙げてご紹介していただきました。

### アンケート集計結果

受講された方々には所定のアンケート用紙に無記名で記載をお願いし、会終了後に回収しました。アンケートを集計し、その結果をまとめたので報告します。

#### 1) 受講者数とアンケート回収率

受講者数は116名であり、アンケート提出者数は88名で回収率は75.9%でした。

#### 2) 性別・年齢

性別は女性が77.5%、男性が22.5%でした。年齢は20代が33.3%と最も多く、次いで、50代

25.3%、30代19.5%、40代18.4%であり、60代が3.5%の順でした。

### 3) 職種

受講者の職種の一覧を表1に示します。

歯科衛生士と歯科医師を合わせると21名(24.7%)であり、その他、障害者(児)に携わる様々な職種の方が出席していました。

表1 受講者の職種

職 種	名 (%)
歯 科 衛 生 士	13 (15.3)
言 語 聴 覚 士	13 (15.3)
看 護 師	11 (12.9)
施 設 職 員	10 (11.8)
歯 科 医 師	8 (9.4)
作 業 療 法 士	7 (8.2)
幼稚園、保育園職員	4 (4.7)
一般、主婦、保護者	4 (4.7)
教 諭	3 (3.5)
心 理 相 談 員	3 (3.5)
生 活 支 援 員	2 (2.4)
学 生	2 (2.4)
介 護 士	1 (1.2)
児 童 指 導 員	1 (1.2)
教育庁特別支援教育課	1 (1.2)
管 理 運 営	1 (1.2)
市 役 所	1 (1.2)
計	85 (100)

※無回答の3名は除く

### 4) 受講者による評価

講演内容に対する受講者の評価を表2に示します。

「非常に良かった」61名(71.8%)が7割以上を占めていました。

表2 受講者による評価

評 価	名 (%)
非常に良かった	61 (71.8)
良かった	24 (28.2)
あまり良くなかった	0
良くなかった	0
計	85 (100)

※無回答の3名は除く

### 5) 受講者の感想・意見

講演内容に関する受講者の感想・意見は以下のとおりでした(一部記載)。

- ・実例を通して説明して頂いたので分かり易かった。
- ・小児・発達系の勉強会は少ないので、新たな発見や確認作業として非常に有用だと思います。
- ・子どもに障害があり参加しました。言葉を発するにはとても時間がかかることだと思いますが“理解する”ということが大切だということが分かりました。ありがとうございました。遊びながら、楽しく言葉を覚えられたらと思います。
- ・子どものペースに合わせて教育していくことが大切だと分かりました。大人から見たら何気ない行動も、実は様々なことを学んでいるということが分かりました。子どもの世界を大切に支援していくことが大切だと分かりました。
- ・日頃、知的障害者施設で生活支援を行っています。今回の講義を受け、忘れかけていたものを取り戻せた気がします。これと合わせ、2児の父でもあり、昔の子育ての時期を思い出し、反省することもありました。有意義な講話をありがとうございました。今後、自分の仕事に活かせるよう努めていきます。
- ・言葉がなかなか出ないお子さんと接することが多いのですが、そのお子さんたちの状況や気持ちが少しわかりました。お子さんとの関わり方、遊び方についても理解を深めることが出来ました。
- ・「ことば」と一言でも、とても複雑で、子ども達はすごいことをしているんだと感じました。コミュニケーションのとり方も分かりやすく、参考になりました。
- ・発達障害の疑似体験ができたことは、子どもの困り感を理解するのに大変参考になりました。STの専門的な指導場面を拝見させていただいた事も有意義でした。

今回の講習会が受講者にとって医療、介護支

援の現場における種々な問題・疑問の解決に役立つ内容でありましたら幸いです。今後も受講者の方々の要望を考慮して実りある講演会を企画していきたいと考えています。



講演風景

## 発達障害の理解と発達を促す関わり方の講演会を受講して

茨城県身体障害者小児歯科治療センター

高橋 裕子、関口 浩

村居 幸夫、征矢 亘、森永 和男

6月7日に茨城県歯科医師会 口腔センター企画による講演会が開かれました。

テーマは「発達障害の理解と発達を促す関わり方」です。

講師の先生は国際医療福祉大学保健医療学部言語聴覚学科の岩崎淳也先生を迎えました。

「発達障害」は決して特別なものでなく、我々誰もが有している「個性」の延長上に存在しているものだそうです。

まず発達障害の疑似体験を通じて各種発達障害の理解を深めていく話から始まりました。人は生まれてからいつの間にか言葉を理解し話せるようになりますが、なんらかの障害を持った人にとってはそれが簡単ではありません。知らない外国語で話しかけられても理解できず答えられないのと似ているようです。聴覚に障害があったり、聞こえていても理解できなかったりするのです。ADH

D・失語症・発達性読み書き障害・自閉症スペクトラム障害の人のことばのつまづきを、映像で疑似体験しました。発達障害を持った方がどのように言葉をとらえているのか、理解できたような気がします。

次にことばを習得し話せるようになるためには、コミュニケーションが大切であり、コミュニケーション意欲を高める訓練として、「遊び」が紹介されました。

「感覚遊び」見て、聞いて、触って外との世界と関わり、様々な能力を獲得していく

「象徴遊び」遊びの経験を積むうちに、実際にやってみなくても頭の中で物事を操れるようになる→象徴（イメージ）の誕生

「ことば遊び」ことばの意味だけでなく、音韻的な側面にも注意を向け、その音を操作

する能力（音韻意識）を育てる

そしてこれらの指導場面が映像で紹介され、発音が出なかったり、はっきりしなかった子供たちが、遊びを通して発音されたり、はっきり発音していく様子が見られました。

次は発達障害を持つ人に対してのことばかけのポイントです。

- |          |                       |
|----------|-----------------------|
| ミラリング    | 子どもの行動をそのまままねる        |
| モニタリング   | 子どもの音声やことばをそのまままねる    |
| パラレル・トーク | 子どもの行動や気持ちをことばにする     |
| リフレクティング | 子どもの言い誤りを正しく言い直して聞かせる |
| エキスパンション | 子どものことばを意味的、文法的に広げて返す |

うまく遊べないときには、子どもの様子を見守

り、子どもの真似をしたりする。または無理に関わろうとせず、場を共有しながら子どもの興味を引くということでした。

子どもが興味を持っている遊びに合わせて、子どもの意欲をそがないように、その子の能力に合わせて手助けやことばかけをすることが大切です。

受身であった自分がしたいことや欲しいものが言えるようになり、コミュニケーションがとれるようになるように促していく、発達障害を理解しその子に合わせてオーダーメイドで関わっていくという事でした。

当センターにもたくさんの発達障害の方が通院されています。4月からことばの教室も始まり、歯科治療だけでなくことばの発達にも関われる環境になりました。センターに通院することで、口の健康だけでなく生活の質の向上につながるよう努めていきたいです。

## 当センターにおける最近5年間の 初診患者の実態調査

茨城県土浦心身障害者歯科治療センター

坂巻 ますみ、丸山 容子、高木 伸子  
伊藤 梓、梅澤 幸司、野本 たかと  
村居 幸夫、征矢 亘、森永 和男

### 【緒言】

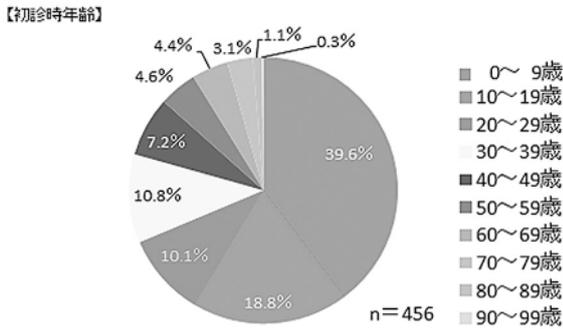
茨城県土浦心身障害者歯科治療センター（以下、当センター）は障害児・者と一般歯科診療所では受診困難な者に対し歯科医療を提供する為、平成3年に公益社団法人茨城県歯科医師会によって開設された。近年、当センターでは年間約90名の初診患者が来院しており、開設から22年間に診

療体制の変更や障害の多様化を認めた。そこで、現在の状況を把握するため、近年5年間の初診患者の実態調査を行った。

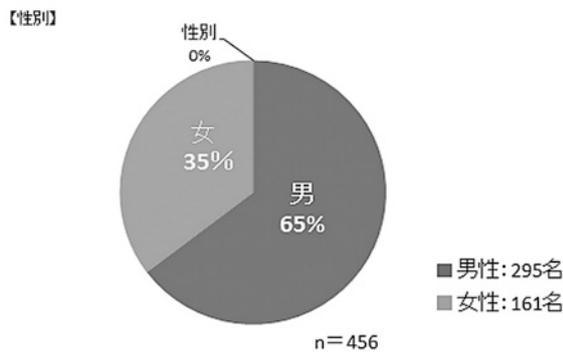
### 【対象および方法】

対象は平成21年4月から平成26年3月までの5年間に当センターに来院した456名の初診患者で、初診時間診票ならびに診療録を用いて調査した。

調査項目は患者の初診時年齢、性別、障害、主訴、居住地、来院手段とした。



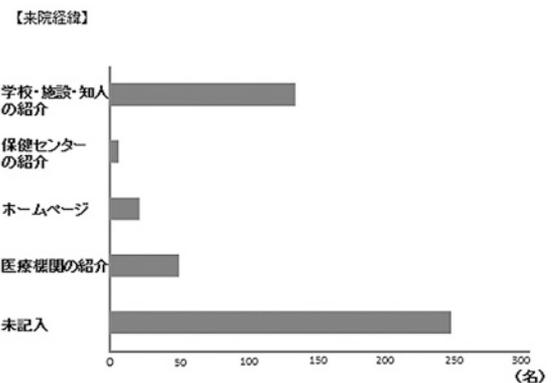
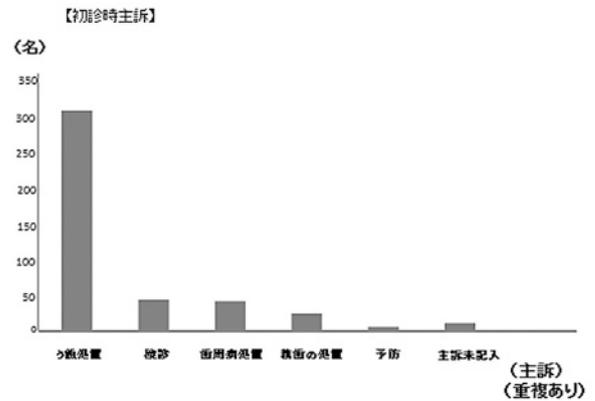
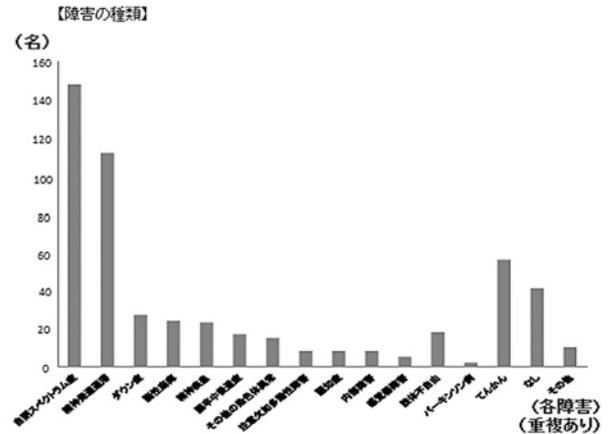
平均年齢: 22.8歳



【結果】

初診時の平均年齢は22.8歳で0～9歳が181名(39.6%)で最も多く、次いで10～19歳が86名(18.8%)、20～29歳が46名(10.1%)、30～39歳が49名(10.8%)、40～49歳が33名(7.2%)、50～59歳は21名(4.6%)、60歳以上は40名(8.8%)であった。性別は男性295名(64.6%)、女性161名(35.4%)であり年度別でも男性が多かった。障害は自閉スペクトラム症が148名で最も多く、次いで精神発達遅滞が112名、ダウン症が27名、脳性麻痺が24名、精神疾患が23名、脳卒中後遺症が17名、染色体異常が15名、注意欠如多動性障害が8名、認知症が8名であった。初診時の主訴は、カリエス処置が301名で最も多く、次いで検診が43名、歯周病処置が41名、義歯の処置が24名、予防が6名であった。居住地はつくば市が87名(19.0%)で最も多く、次いで土浦市が85名(18.6%)、石岡市が26名(5.7%)、かすみがうら市が17名(3.7%)であった。来院手段は電車と

バスを利用した患者が1名でその他455名は自家用車での来院であった。



## 【考 察】

患者の初診時年齢は0～19歳の患者が58.4%で、全体の半分以上を占め、自閉スペクトラム症や精神発達遅滞が多い反面、脳卒中後遺症などの中途障害は少なかった。これは当センターでは学校の親同士による紹介が多いことが理由と思われる。また、発達障害の総数に対する男女の割合は平成23年生活のしづらさなどに関する調査によると男性69.7%、女性30.2%と報告されており、同様の結果を得た。初診時主訴はカリエス処置を希望した患者が多かった。歯科疾患実態調査によると5歳以上15歳未満の各年齢で4～7割の者が乳歯または永久歯にう蝕を有していた。当センターでも全主訴の7割がう蝕処置を希望しており、実態調査と同様であった。居住地は茨城県の定めた二次医療圏外から71.1%の患者が来院しており、茨城県内の障害者歯科治療機関の少なさが影響したと思われる。

今回の調査により当センターは自閉スペクトラム症や精神発達遅滞が多く、県内の広域から来院を認めた。そのため患者の特性を把握し、患者が必要とする治療環境をさらに整備する必要がある

と考えられた。また、地域医療を担う二次医療機関として一般歯科診療所、医科の病院や行政とも連携し、地域の障害者・児の歯科受診機関の整備にも努めていきたい。



## 電話相談のお知らせ

現在、茨城県歯科医師会では会員の方々の様々な疑問、問題に対処できるよう以下の4名の専門家と顧問契約を結んでおります。

<b>顧問弁護士</b>	<b>大和田一雄氏</b>	法律相談全般
	<b>飯島章弘氏</b>	医療事故に関すること
<b>医療アドバイザー</b>	<b>古川 章氏</b>	保険請求や各種届出などに関すること
<b>社会保険労務士</b>	<b>皆川雅彦氏</b>	従業員との労働契約、労務関連など

相談したい事柄がございましたら、お気軽に茨歯会事務局まで電話、またはFAXにてご連絡ください。各先生との相談の日程などの調整、あるいは後日回答できるように致します。ただし、相談は無料ですが、その後は個別対応となります。



**茨城県歯科医師会事務局**  
 電話 029-253-2561  
 FAX 029-253-1075

# 茨歯アンテナ

2015年 7月15日 (水) 茨城新聞

## 高齢者向け講演 口腔ケアを説明

河内

河内町が主催する高齢者向けの講演会がこのほど、同町長竿の農村環境改善センターで開かれ、口腔ケアによる健康維持をテーマに森永和男(歯科医師会)長らが講演し、町民ら約250人が熱心に耳を傾けた。

森永会長は歯周病が糖尿病や肺炎に与える影響や、歯の数がいくほど認知症になりにくいことを解説。「かかりつけの歯科医を持ち、口内の衛生を維持することが健康長寿につながる」と呼び掛けた。



口腔ケアについて話す森永和男会長。河内町長竿

演題は「めぐもそう健康長寿〜かかりつけ歯科医による健康支援」。

2015年 7月20日 (月) 読売新聞

# 最期まで心に寄り添って

## 家族の支え 大切さ説く

病気の予防や健康について考える「いはらき健康塾」(読売新聞水戸支局、水戸市歯科医師会主催)の第8回公開講座が19日、水戸市見和の県歯科医師会館で開かれた。この日は、終末期医療などをテーマに「玉穂ふれあい診療所」(山梨県中央市)の土地邦彦院長が、「高齢化時代を生き抜く〜幸せな老後と大往生のために〜」と題して講演。約1100人の参加者が熱心に耳を傾けた。



## 水戸で医師講演

土地院長は、長年、終末期医療などに取り組んでいる。講演で土地院長は、従来の医療は、完治が難しい患者に対しても入院治療などの実施を重視してきたが、これからは、残された期間の質をより高めてもらうため、在宅医療を中心に「生活を支える」ことが大事になってくると説明。

なかでも訪問歯科診療による口腔ケアは、「生活の質を高め、肺炎を減らすなどの効果があり重要」と説いた。

また、多くの患者をみてきた経験から、「薬や



これからの緩和ケアについて話す土地院長(19日、県歯科医師会館)

技術がどんなに進歩しても、心の問題に向かい合うことができないければ患者は満足しない。まずは家族と、患者本人が亡くなるという現実を受け止めることが大事」と指摘。そのためには家族が話し合い、寄り添うことの必要性を訴えた。

質疑応答では、参加者の一人が、「親戚の高齢者が『やることはもうない。死にたい』とよく口にする。『元気でいてよ』と言ってしまつが、こういう言葉は苦しみになるのか」と質問した。

これに対しては、「励ま

茨城新聞 8月18日(火) 掲載

# 歯科コラム Dental column

Vol. **22**

つくば市 永田歯科医院院長  
永田 修

## 口臭～気にしすぎもよくありませんが、エチケットとして少し気にしてください～

口臭は、単に嗅覚でとらえられる生理的に発生するガスに過ぎません。臭気ガスそのものは病気ではなく、体臭と同じくその時のコンディションにより強く発生するものです。日本口臭学会では、口臭は「本人あるいは第三者が不快と感じる呼気の総称」と定義しています。そして、「口臭症は「生理的・器質的・精神的な原因により口臭に対して不安を感じる症状」としています。従来のとらえ方と大きく異なるのは、他人が臭いと感じるだけでなく自分が感じるのも含めていることです。

日常生活の中でも時間帯や状態によって口臭が強くなることは誰でもあり、怖がることはありませんし、理解しコントロールする事は可能です。生理的口臭は、誰にでも起こることがあり起床時口臭、空腹時口臭、疲労性口臭、飲食・喫煙による口臭、嗜好物・薬物による口臭があります。

また、耳鼻科・内科的原因でも口臭が強くなることもあり、口臭に気を配ることは体調管理にとっても重要な事だと思えます。

当然歯科疾患に起因する口臭もあり、むし歯や歯周病、清掃不良な義歯、悪性腫瘍も原因になりますので、気になったら歯科医院に相談しましょう。口臭が強くなる原因は多々ありますが、これには口腔内の細菌が関与している事が多いので、お口の中のお手入れ(口腔ケア)をしっかりと、口腔管理(オーラルマネージメント)はかかりつけの歯科医院と共同で頑張りましょう。歯科医院で定期的に行う機械的歯面清掃は、口腔内細菌数のコントロールに効果的です。

また、比較的多い口腔内の原因として、安静時唾液分泌量の低下と口呼吸が

あります。

安静時唾液とは、何も刺激がないときに自然に出る唾液の事で、自律神経に支配され主に副交感神経優位の時に多く分泌されます。また、呼吸は鼻でするのが正常ですが、口呼吸ではお口が渇き口臭の原因となります。その他にも免疫力が落ち種々の病気にかかり易くなるとも言われています。

安静時唾液分泌量の改善には自律神経が関与しますので、生活習慣と食生活の改善で対処しましょう。朝食をしっかり取る事も、その方法の一つです。

口呼吸の改善には、耳鼻科的疾患や、歯並びの異常などで口唇の閉鎖が不十分となる場合はその治療が必要となります。また、最近では、口呼吸の改善に「あいうべ体操」という筋機能療法を応用した方法が取り入れられており、歯科・耳鼻科・皮膚科の連携研究会(日本病巣疾患研究会や鹿児島県歯科医師会等)で勧めています。この運動は、口を大きく「あ～い～う～べ」と、できるだけ大きく動かすもので、「最低30セット行ってください。アゴが痛む方は「い～う～」だけでも大丈夫です。



●次回掲載予定 11月18日(水)

 公益社団法人 **茨城県歯科医師会**  
Ibaraki Dental Association

<http://www.ibasikai.or.jp/>  
茨城県歯科医師会 検索

 ご意見、ご質問をメールにてお寄せください。  
[opinion@ibasikai.or.jp](mailto:opinion@ibasikai.or.jp)



独立行政法人福祉医療機構貸付利率より医療貸付事業の貸付利率の改定について、次のとおり通知がありましたので、お知らせいたします。

### 福祉医療機構（医療貸付）貸付利率表

#### 固定金利

平成 27 年 8 月 12 日 改定

施設の種類	病院・診療所							
	新築・甲種 増改築資金		乙種 増改築資金		機械購入資金 (償還期間 5 年以内)		長期運転資金	
利 率	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新
償還期間 10 年以内	0.50%	0.50%	1.00%	1.00%	1.10%	1.10%	0.90%	0.90%
10 年超 11 年以内	0.60%	0.50%	1.10%	1.00%				
11 年超 12 年以内	0.60%	0.50%	1.10%	1.00%				
12 年超 13 年以内	0.70%	0.60%	1.20%	1.10%				
13 年超 14 年以内	0.70%	0.60%	1.20%	1.10%				
14 年超 15 年以内	0.70%	0.70%	1.20%	1.20%				
15 年超 16 年以内	0.80%	0.70%	1.30%	1.20%				
16 年超 17 年以内	0.80%	0.80%	1.30%	1.30%				
17 年超 18 年以内	0.90%	0.80%	1.40%	1.30%				
18 年超 19 年以内	0.90%	0.90%	1.40%	1.40%				
19 年超 20 年以内	1.00%	0.90%	1.50%	1.40%				

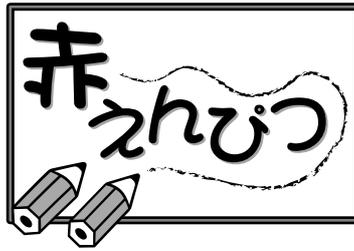
#### 10 年経過後金利見直し（当初 10 年）

平成 27 年 8 月 12 日 改定

施設の種類	病院・診療所			
	新築・甲種 増改築資金		乙種 増改築資金	
利 率	旧	新	旧	新
償還期間 10 年超 11 年以内	0.50%	0.50%	1.00%	1.00%
11 年超 12 年以内	0.60%	0.50%	1.10%	1.00%
12 年超 13 年以内	0.60%	0.50%	1.10%	1.00%
13 年超 14 年以内	0.60%	0.50%	1.10%	1.00%
14 年超 15 年以内	0.60%	0.60%	1.10%	1.10%
15 年超 16 年以内	0.60%	0.60%	1.10%	1.10%
16 年超 17 年以内	0.60%	0.60%	1.10%	1.10%
17 年超 18 年以内	0.60%	0.60%	1.10%	1.10%
18 年超 19 年以内	0.70%	0.60%	1.20%	1.10%
19 年超 20 年以内	0.70%	0.60%	1.20%	1.10%

※詳細につきましては、独立行政法人福祉医療機構ホームページ・金利情報ページ

(<http://hp.wam.go.jp/kinri/tabid/67/Default.aspx>) に掲載されておりますので、併せてご利用願います。



15年前、長男の中学校運動会での話です。全員参加のクラスリレー。アンカーの長男が2位でバトンを受け取り、第4コーナーでトップの生徒さんを追いぬこうと迫って来ます！私は第1コーナー隅に陣取りカメラを構えています。フィルムカメラ！連写機能なし！一瞬のシャッターチャンス！その時の胸の高鳴りと興奮！今でも鮮明に覚えています。この時の写真は、私のお気に入りの一枚です。この写真を見るたびに、あの時の運動会の暑さと、リレーの写真撮影が終わり、思わず見上げた空の青さと高さを思い出します。

時は流れ、時代はデジタルとなりました。デジカメ画像は、何でもありの世界です。連写して、たくさん撮影して、いい画像を選ぶ。モニター上で編集して。お気に入りの画像の完成です。いい画像はできるようになりました。けれどもフィルム時代のような感動がなくなったように感じています。

フィルムカメラの経験者曰く「デジタル画像には、空気が写ってないんだよね！！」何となく言わんとすることは理解できます。けれどもフィルムカメラには、もう戻れないと思います。フィルムカメラはコストがかかるし、保存場所も大変！だって、今どきのスマホはいい画像がとれますもの！！

(和)

家の帰り道、この間までカエルが鳴いていたのに、いつのまにか秋の虫の合唱に代わってしまいました。秋の気配が濃くなってきましたが、皆様

今年の夏は如何でしたか？

私は今年も休日の山行を楽しみました。特に思い出に残っているのが田代山です。田代山は南会津の奥深く、福島・栃木の県境で尾瀬に近い場所にあります。山の形が個性的で、プリンの形をして頂上が平坦な高層湿原になっています。初夏は高山植物が咲き競い、素晴らしい楽園となります。登山口から頂上までは1時間30分ほど。7



月はワタスゲで真っ白な湿原でした。

下山後はいくつかの温泉が楽しめます。今回は木賊温泉を尋ねました。

木賊温泉で人気があるのは、河原の混浴共同浴場。

1000年ほど前から地元の人々に守られているそうです。浴場は素朴な屋根がついている建物で、



湯船の底から温泉が湧出している掛け流し温泉です。初夏には湯船から蛍が見られるそうです。

“うさぎちゃん”との出会いを楽しみにしていたのですが、今回も幸か不幸か一人きりの貸切温泉で、川のせせらぎを聞きながらリフレッシュしました。

写真は田代山頂と混浴共同浴場です。

(樹)

表紙でも掲載した『牛久大仏 万燈会』まんと  
うえ・・・と読むらしい、に行ってきました。初め  
て行きましたが、何とも幻想的な会でした。万燈  
会とは、お盆の追悼法要行事で17時半に開門、19  
時になると園内の花畑に吊るされた無数の灯籠に  
ろうそくが灯されます。園内の池には流し灯籠を



浮かべる人の行列も。

大仏のライトアップや一人ずつ申し込  
んで名前を読み上げ  
られてから打ち上げ  
られる奉納花火のほ  
か、ステージでは  
「牛久かつば太鼓」や  
マジックショー等が  
行われ、露店には行  
列ができるほど、敷  
地内は人、人、人で  
いっぱい。

なかでも見どころは21  
時に始まった花火。約5  
分間ぐらいの短いも  
のでしたが、その分一  
気に集中して打ち上  
げるので迫力満点。知  
っている人はその時  
間に合わせて、それ  
だけを見に来ている  
人も居たくらい。今  
回、都合で万燈行列  
を直接見ることはで  
きませんでした



が、大仏から行列が  
練り歩きながら奏で  
る雅楽器の音色が一  
段とムードを盛り上  
げました。

離れたところから  
でも花火やライトア  
ップは見えますが、  
是非一度園内で幻  
想的な時間を過  
ごしてみてもいい  
と思います。

(コバ)



広告

# 「全寮制」で医・歯学部現役合格 知力が先伸びする秀明教育



**News** 2016年4月 秀明中学校「スーパーイングリッシュコース」が新設  
多様な「海外留学制度」と「ネイティブによるHRや授業」でグローバル時代に対応できる英語力をつけます。

## 学校見学会／個別相談会

本校HP、お電話よりお申し込みください。

各回とも13:00～

中学校 … 9月 6日(日)・11月 8日(日)

高等学校 … 10月17日(土)・11月21日(土)・12月12日(土)

## 創立以来の輝かしい合格実績

医学部				歯学部			
大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数
東京大学理科Ⅲ類	3	慶應義塾大学	3	北海道大学	2	日本歯科大学・生命歯、新潟歯	192
北海道大学	3	自治医科大学	2	東北大学	1	昭和大学	61
東北大学	5	産業医科大学	2	九州大学	2	愛知学院大学	15
名古屋大学	3	日本医科大学	37	東京医科歯科大学	6	大阪歯科大学	18
大阪大学	1	東京慈恵会医科大学	21	新潟大学	3	北海道医療大学	42
九州大学	1	順天堂大学	54	岡山大学	1	岩手医科大学	36
東京医科歯科大学	1	昭和大学	63	広島大学	2	奥羽大学	103
千葉大学	7	日本大学	73	徳島大学	1	明海大学	157
筑波大学	2	東京医科大学	57	長崎大学	2	神奈川歯科大学	83
群馬大学	5	東邦大学	85	鹿児島大学	2	鶴見大学	90
新潟大学	6	東京女子医科大学	14	九州歯科大学	4	松本歯科大学	82
防衛医科大学校	10	獨協医科大学	133	東京歯科大学	73	朝日大学	34
上記以外、国公立 18 大学 69 名、私立 17 大学 808 名				日本大学・歯、松戸歯 140			

※数字は1982年～2015年度の延べ人数※順不同

学校法人 秀明学園 学校や寮の見学は随時可能です。入試室までお問合せください。

# 秀明中学・高等学校

〒350-1175 埼玉県川越市笠幡4792 ☎049-232-3311(入試室直通) <http://www.shumei.ac.jp>

秀明学園

検索

# みんなの写真館

Photo Gallery

(社)茨城県つくば歯科医師会

小林健一



流し灯籠



吊るし灯籠



万燈会 クライマックスの花火



幻想的なライトアップ

## みんなの写真館写真募集！

このページには皆さんからの写真を掲載できます。表紙写真に関連した写真、御自宅の古いアルバムに埋もれた写真などを御送り下さい。

1種会員 1,141名  
 2種会員 44名  
 終身会員 141名  
 準会員 1名  
 合計 1,327名

## 会員数

平成27年7月31日現在

支 部	会員数(前月比)
日 立	123
珂 北	138
水 戸	159
東西茨城	75
鹿 行	103 -1
土浦石岡	172
つ く ば	120
県 南	175
県 西	154
西 南	107
準 会 員	1
計	1,327 -1



**Ibaraki Dental Association**

公益社団法人 茨城県歯科医師会

## 茨 歯 会 報

発行日 平成 27 年 7・8 月  
発 行 茨城県歯科医師会 水戸市見和 2 丁目 292 番地  
電 話 029(252)2561~2 FAX 029(253)1075  
ホームページ <http://www.ibasikai.or.jp/>  
E-mailアドレス id-05-koho@ibasikai.or.jp

発行人 征矢 亘  
編集人 菱沼 一弥



この会報には、環境に配慮して植物油インキを使用しております。